

最新の運転再開支援システムを導入！

脳卒中患者の社会復帰を全力サポート

近年、脳卒中をはじめとする病気や障がいからの運転再開支援が注目を集めています。当院では、約 20 年前から運転支援に取り組んでおり、2024 年度には最新の「トヨタ製コーディネーショントレーナー」を導入しました。

このシミュレーターは、AI 技術によるリアルな運転環境の再現が可能で、路面のノイズや振動も体感できるため、より実際の運転に近い体験ができます。さらに、座面が動くことで、シミュレーター特有の「酔いやすさ」が軽減され、より快適な環境で訓練を行うことができます。危険予測や交通ルールの遵守、運転操作の練習も行えるため、段階的かつ効果的なトレーニングが可能です。

また、日本交通安全教育普及協会が監修した「ヒヤリハット体験プログラム」も導入し、危険な場面を繰り返し体験することで、事故の予防能力やリスク回避の感覚を磨くことができます。このシミュレーターは、障害を持つ方だけでなく、企業の従業員教育にも活用されており、交通事故削減にも効果が期待されています。



当院の運転支援の取り組み

当院では、高次脳機能障がいの評価を行い、運転に必要な注意力・判断力・身体機能の評価を実施しています。紙面での検査に加え、ドライブシミュレーターを活用した評価を行い、より総合的なサポートを提供しています。さらに、教習所と連携した実車による運転技術の評価も実施しており、退院後の安全な運転再開を総合的に支援しています。

地域のニーズに応える支援を目指して

当院が位置する庄内地方では、交通インフラが十分に整備されていないため、自動車が唯一の移動手段と感じられることが多いのが現状です。そのため、運転再開は退院後の社会復帰においても非常に重要な課題となっています。

当院では、「自動車がなくても安心して暮らせる地域づくり」を願いつつも、退院後の生活に不安を抱える方々が、安全かつ自信を持って運転を再開できるような支援を今後も続けてまいります。

作業療法士 佐々木 駿



水 焔

すいえん

第 23 号 2025.2

理念

障がいがあっても人間としての尊厳を持って
生きることを支援する
リハビリテーション医療・介護をめざします

鶴岡協立リハビリテーション病院 広報委員会

〒997-0346
山形県鶴岡市上山添字神明前38
TEL:0235-78-7511 FAX:0235-78-7515
URL: http://y-mcoop.com/rehabili/

病院機能評価 特別号



水 焔 名前の由来は？

稲と生命の源である水と、文化の源である火との競演・融合する様を表現した「水焔の能」(櫛引地区で毎年7月に開催:2005年病院広報誌開始時点での櫛引町ホームページより)表題です。私達の医療・介護が地域に根付き、生命と文化を大切にしたいとの願いをこめて、この表題をつけました。